

共に手を携え、より早く、より強力な治療法を。

WUNは、ナルコレプシーリサーチを促進するために100万ドル以上の寄付を行いました。コミュニティ、睡眠センター、および専門家と協力しながら、より深い理解、より良い治療オプション、そして最終的には治療法の発見に向けて資金調達のためのイニシアチブを推進しています。

私たちが提供するプログラム

- ナルコレプシーリサーチの資金調達
- 教育イベント(ウェビナーおよび対面式)
- 募金イベント
- 啓発と教育のキャンペーン
- オンラインサポートグループ
- 子供向けキャンプ

Wake Up Narcolepsyは、501(c)(3) 非営利団体で、ナルコレプシーに関する知識を深めて治療法を開発することに専念しています。私たちは、患者、介護者、臨床医、研究者、および教育者と協力し、ナルコレプシーへの理解と専門知識の促進を行っています。



ナルコレプシーに関する知識を深め、治療法を解明

ナルコレプシーは、治療法が確立していない神経性の睡眠障害で、これは脳が通常の睡眠覚醒サイクルを調節できなくなるために起こります。

概要

- 典型的な発症は10歳から20歳の間に起こります
- ナルコレプシー患者の最大50%が未診断状態にあると推定されています
- ナルコレプシーと診断されるまでに平均で6回、医師の診察を受けています
- ナルコレプシーは学業に影響を与え、人間関係を難しくします
- 治療法はありませんが、薬物療法やライフスタイルの変更、およびその他の療法によってその症状の多くを軽減できます

Wake Up Narcolepsy
PO Box 60293 | Worcester, MA 01606
www.wakeupnarcolepsy.org



ナルコレプシー(居眠り病)は、2,000人に1人の米国人がその影響を受け、世界での罹患者数は300万人に達します。

ナルコレプシーは、治療法が確立していない神経性の睡眠障害で、これは脳が通常の睡眠覚醒サイクルを調節できなくなるために起こります。

ナルコレプシーは、レム睡眠を伴い、覚醒中に眠気に襲われたり、あるいはまたその逆が起きたりします。症状はさまざまですが、以下のようなものがあります。

- | | |
|---|---|
| 日中の過度の眠気(EDS)
日中に目を覚ましているのが難しい、あるいは気を張り詰めている状態を維持することができない | 脱力発作
強い感情によって引き起こされる突然で短時間的な筋緊張の喪失 |
| 入眠時幻覚および出眠時幻覚
眠りにつく時や目が覚める時に経験する鮮明な夢のような出来事 | 睡眠障害
目が何度も覚めるという特徴を持った睡眠不足 |
| | 睡眠麻痺
眠りにつくときや目覚めるときに、動いたり話したりすることが一時的にできなくなる |

診断

ナルコレプシーは、怠惰、ADHD、うつ病、睡眠時無呼吸、てんかん、およびその他の精神疾患と誤診されることがあります。

現在行われている診断検査:

- 睡眠ポリグラフ検査(PSG): 脳波、血中酸素濃度、心拍数、呼吸、眼球と脚の動きを記録する一晚睡眠検査
- 反復睡眠潜時検査(MSLT): PSGの翌朝に行われる昼間の睡眠検査で、患者の入眠の速さ(潜時)とレム睡眠の開始の速さを測定します

影響

- 人間関係への影響
- 教育と職業の制限
- 公的な場での安全性や個人の安全性(例えば、自動車の運転)
- 孤立と社会的排除
- うつ病、心配性、感情面での福利

治療

症状は、適切な睡眠衛生、健康的な食事、運動、サポートグループなど、一連の薬物療法とライフスタイルの変更によって管理できます。

ナルコレプシーの症例のうち最大50%が診断されていない可能性があります。

